

平成 30 年度第 1 回及び第 2 回青少年問題協議会専門部会報告書

第 1 回専門部会 平成 30 年 8 月 29 日（水）午前 10 時から 11 時 20 分まで 田無庁舎 2 階 203 会議室

内 容

1 部会長・副部会長の選出 部会長：西原委員、副部会長：高田委員に決定

2 今期の活動テーマについて

主な意見

【検討課題】

発信力・コミュニケーション力の低さ、SNSの影響

- ・素直でいい子が多いが、自ら発信することが少ない。具体的な何かを提案する場を設定してあげられるといい。
- ・語彙が少なく、コミュニケーション力、表現力が低いことで、誤解が生じたり、関係がうまくいかなくなったりすることが見受けられる。
- ・家にひとりでも SNS で友だちと会話をして繋がっている。SNS の居場所がなくなることで、自分の居場所を見つけられずに孤立するのではないか。
- ・直接会って話ができる場を別に用意してあげないと、問題に繋がっていってしまうと思う。
- ・ボランティア等に参加してもその場限りで関係をリセットしてしまうため、地域で繋がっていない。
- ・青少年固有の問題ではなく、大人も含めた社会の問題なのだと思う。
- ・変わったことに焦点を当てるのではなく、現状をどのようにサポートするかに意味がある。
- ・SNS を利用できないように取り上げるのではなく、SNS やアプリでサポートしてあげられるといい。

居場所・悩み等を話せる場所

- ・中学校では、授業と部活だけで、ほかのクラスの子と話す時間の余裕がないという。
- ・放課後カフェは、学校で児童館のような場を提供して、それぞれコミュニケーションを図っている。直に話ができる場所、大人が関われる場所としてもとてもいい。
- ・児童館・児童センターの職員は、子どものことをよく把握している。特化型児童館を中高生が結構利用していることを考えると、そういう場所を探して、大人を頼りにしているのだろう。相談しやすい大人身近にいれば相談するのだということを感じる。
- ・小学校から中学校の間に子どもが出逢う大人が圧倒的に少ない。人と人の相性もあるのでもろいろな人が関わるのが大事だ。
- ・いろいろな受け皿があることが必要で、子どもが自分の興味でどこかに引っかかれればいい。

【調査・研究のための取組手法】

- ・青少年と SNS の実態について、中学生の声を直に聞いて現状を把握する。
- ・特化型児童館・児童センターを視察して、職員から話を聞く。
- ・実際に子どものために提供されている場を視察する。

内 容

1 今期の活動テーマについて

(1) 今期の活動テーマについて

「子どもたちが直面しているSNSの現状について」とし、現状の把握に努める。

- ・ SNSの普及については、第6期での報告以降に出てきた新しい問題であると思う。
- ・ 子どもたちが直面しているSNSの現状について、保護者はある程度知っていても、そのほかの市民には分からない。それを明らかにするのがこの協議会の務めかと思う。報告書は、現状、対策、実際の子どもたちや大人の声を載せ、必要な機会や場の充実を求める形になるかと思う。
- ・ 任期中の1年で取組むには量が多いのではないか。
- ・ 今回は、現状を知るといふことに特化してやることにしたい。

(2) 活動の具体的な取組について

① 中学生・高校生世代でスマホを所持している子へのヒアリング

- ・ みんなの意見も大事ではあるが、スマホ等を持っていない子もいる。実際に使いこなしている子から、困っていること、実際にあったトラブルなどの生の声が聞けるといいと思う。
- ・ 放課後カフェ等で声をかけてこちらの趣旨を伝えれば、警戒心なく話してくれるかもしれない。
- ・ 情報は効率的に集めるのがいい。わたしたちが児童館・児童センターへ視察に行き、そのときに来館している子たちに話を聞いて集約するだけでも十分材料になる。
- ・ 堅くはなるが、学校を通してやらないと、公平性を欠く等と言われるのではないか。
- ・ ヒアリングの場所や方法については、協議会で校長会代表の委員や教育委員の方にもご意見を伺いたい。

② 保護者に対するアンケート

- ・ P保連でアンケートをとって集約してもらうことはできるのか。
→ 集約は、各校PTAの運営委員会から協力が得られれば、なんとかできると思う。
- ・ 保護者全員にアンケートを出してもあまり集まらない気がする。用意するアンケート用紙がものすごい数になるし、PTAの運営委員会の方たちなどに対象を絞るのはいいかがか。
- ・ アンケートは、PTAの運営委員会メンバーを中心に、問題意識を持っている方に返してもらえるといいのではないか。

③ 教育委員会・学校での取組の現状を聞く

- ・ 学校ではセーフティ教室等を結構やっているが、子どもはあまりピンときていないようだ。
- ・ 学校の取組について、ここ2年くらいの変遷と、学校が家庭で生徒にどの程度指導してほしいと思っているのか、学校か教育委員会(指導課)から話してもらいたい。
- ・ 先生のどなたかにSNSに対する意見を集約していただいて、部会で話してもらいたいと思う。どういう形がいいのか、協議会で校長会代表の委員に伺いたい。

④ 特化型児童館・児童センターの視察及び施設職員へのヒアリング

- ・ 児童館・児童センターに出向いて現場を見て、職員に話を聞きたい。

⑤ スマホ事業者等の専門事業者による研修会

- ・ 学校等では事業者が無料でトラブル事例等を説明してくれる講習会がある。私たち自身の学びとして、話を聞けるなら機会を設けたい。

その他意見

- ・ 協議会委員である警察の方や裁判所の方からも、現状について話を聞けるといい。